

Sunshine 第5回 <問題集>

Lesson 5-1: 肯定の命令文 (一般動詞編)

命令文とは「書きなさい」「使いなさい」といった、「～しなさい」といった文です。しかし、言い方によって『強制』だけでなく『提案』のニュアンスも含めることができます(料理のレシピは、基本的に命令文が使われます)。命令文では「一般動詞」と「be 動詞」で文の形が異なりますので、ここでは「一般動詞の肯定の命令文」だけを学んでいこうと思います。肯定の命令文のポイントは、**主語がなく、動詞の原形(辞書で調べる形)から始める**というものです。

【肯定の命令文 (一般動詞編) : 基本の形】

一般動詞の原形 + ~.

(~を「一般動詞」しなさい)

<例> Write your name here. (ここにあなたの名前を書きなさい)

*Look at my notebook. (私のノートに目を向けて)

*「〇〇に目を向ける」という場合、look at 〇〇となる。at を忘れないように注意。

【作り方】

ステップ1: You を主語にした**肯定文**を作る。

ステップ2: 主語の**You**を取る。

<例: ここにあなたの名前を書きなさい>

ステップ1: You を主語にして**肯定文**を作る。「(あなたは)ここにあなたの名前を書きます」

You write your name here.

ステップ2: 主語の**You**を取る。

Write your name here.

【ポイント】

1. Let's ~ (～しましょう) は、命令文の一種

すでに練習にも登場している Let's ~ (～しましょう) という形は、命令文の一種です。

<例> Let's play basketball. (バスケットボールをしましょう)

2. and を使って2つの命令文をつなげることも可能

and を使うことによって、2つの命令文をつなげることができます。

<例> Go home and do your homework. (家に帰って宿題をして)

Lesson 5-2: 様々なフレーズ③

(1) go shopping = 買い物に行く (go to shopping にならないように注意)

<例> Let's go shopping tomorrow. <明日買い物に行きましょう>

(2) during lunch break = お昼休みの間

<例> I read books during lunch break. <私はお昼休みの間本を読みます>

[補足説明]

「during = ~の間 (前置詞)」「lunch = 昼食」「break = 休み・小休憩」という意味のため、during lunch break は「お昼休みの間」となる。break は、可算名詞なのに、ここでは a/the が付かない特殊なケースとなっている。

(3) like ~ing = ~することが好きです

<例> I like running. <私は走ることが好きです>

[補足説明]

「動名詞 (動詞 + ing = 動詞すること)」が使われている形。like cooking (料理することが好き) like playing sports (スポーツをするのが好き) など、様々表現に使うことができる。

Lesson 5-3: 疑問詞③ (How about / What day / How is the weather)

(1) How about ~? = ~ (について) は、どうですか

<例> A: I like soccer. B: How about baseball?

<A: 私はサッカーが好きです。 B: 野球はどうですか>

[補足説明]

「about ~ = ~について (前置詞)」「How ~? = ~は、どうですか (疑問詞)」という意味。「彼らはどうですか」のように“How about 代名詞?”の場合、代名詞は目的格となる。

<例> I like soccer. How about them? (私はサッカーが好きです。彼らはどうですか)

(2) What day (of the week) is it today? = 今日は何曜日ですか

<例> A: What day is it today? B: It is Friday. <A: 今日は何曜日ですか。 B: 金曜日です>

〔補足説明〕

「日にち・天気・寒暖・距離」をいうときは、主語に it がよく使われる。(it の be 動詞は is で、am / are と同じように、肯定文なら主語の後、否定文なら is not (isn't)、そして疑問文なら Is ~? の形となる。詳細は、第 8 回の練習参照) そのため、疑問文の主語も it となっており、答える時も It is Friday. となっている (Today is Friday. も可。日にち自体を聞いているので on Friday にはならないので注意)。

疑問文の作りとしては When / Where 同様、「疑問詞+疑問文?」の形となる。今回は疑問詞の部分が長く What day (of the week) となり、疑問文の部分が is it today? となり “What day (of the week) + is it today?” となっている。

day は「日 / 1 日」という意味もあるため、What day is it today? で日付を尋ねていると勘違いしないように注意 (日付をたずねる時は What is the date today? となる)。

<例> A: What is the date today? B: It is May 2nd. <A: 今日は何日ですか。 B: 5月2日です>

(3) How is (How's) the weather (in ○○) (today)? = (今日の)(○○の) 天気はどうですか

<例> A: How's the weather today? B: It is sunny. <A: 今日の天気はどうですか。 B: 晴れです>

〔補足説明〕

「How ~? = ~は、どうですか (疑問詞)」という意味。特定の場所の天気をたずねたい場合は、in ○○ (例: in Tokyo) を足す。疑問文の形は「疑問詞+疑問文?」となるので “How + is the weather (in ○○) (today)? ”。答える時は、it が主語に使われることが多い。

<天気を表す際によく使われる言葉>

sunny = 晴れている cloudy = 曇っている rainy = 雨降りの snowy = 雪の降る

Lesson 5-4: 否定の命令文 (一般動詞編)

否定の命令文とは「これを食べないで」と言いたい時などに使います。否定の疑問文の作り方は非常に簡単。なぜなら、**肯定の命令文の前に don't (あるいは do not) を足せば完成**だからです (基本的に do not よりも、don't が使われます)。

【否定の命令文：基本の形】

Don't (Do not) + 一般動詞の原形 + ~.
(~しないで)

<例> **Don't (Do not) use my computer.** (私のパソコンを使わないで)
Don't (Do not) look at me. (私に目を向けなくて)

【作り方】

ステップ1：肯定の命令文を作る。

ステップ2：文の先頭に **Don't/Do not** を足す。

<例1: 私のパソコンを使わないで>

ステップ1：肯定の命令文を作る。 → 「私のパソコンを使って」

Use my computer.

ステップ2：文の先頭に **Don't/Do not** を足す。

Don't (Do not) use my computer.

<例2: 私に目を向けないで>

ステップ1：肯定の命令文を作る。 → 「私に目を向けて」

Look at me.

ステップ2：文の先頭に **Don't/Do not** を足す。

Don't (Do not) look at me.

Lesson 5-5: 様々なフレーズ③

1. **in the morning** = 朝に / 午前中に

<例> I want to study English in the morning. <私は午前中に英語の勉強をしたいです>

2. **in the afternoon** = 午後に

<例> I don't work in the afternoon. <私は午後に仕事はしません>

3. **in the evening** = 夕方に / 晩に

<例> They work in the evening. <彼らは夕方に働きます>

4. **at night** = 夜に

<例> Don't play the piano at night. <夜にピアノを弾かないで>

【ポイント!】

evening と night は、両方とも「晩」という意味で使われるが厳密には以下のような違いがある。

evening = 日没から就寝時までを指す

night = 日没から日の出までを指す